

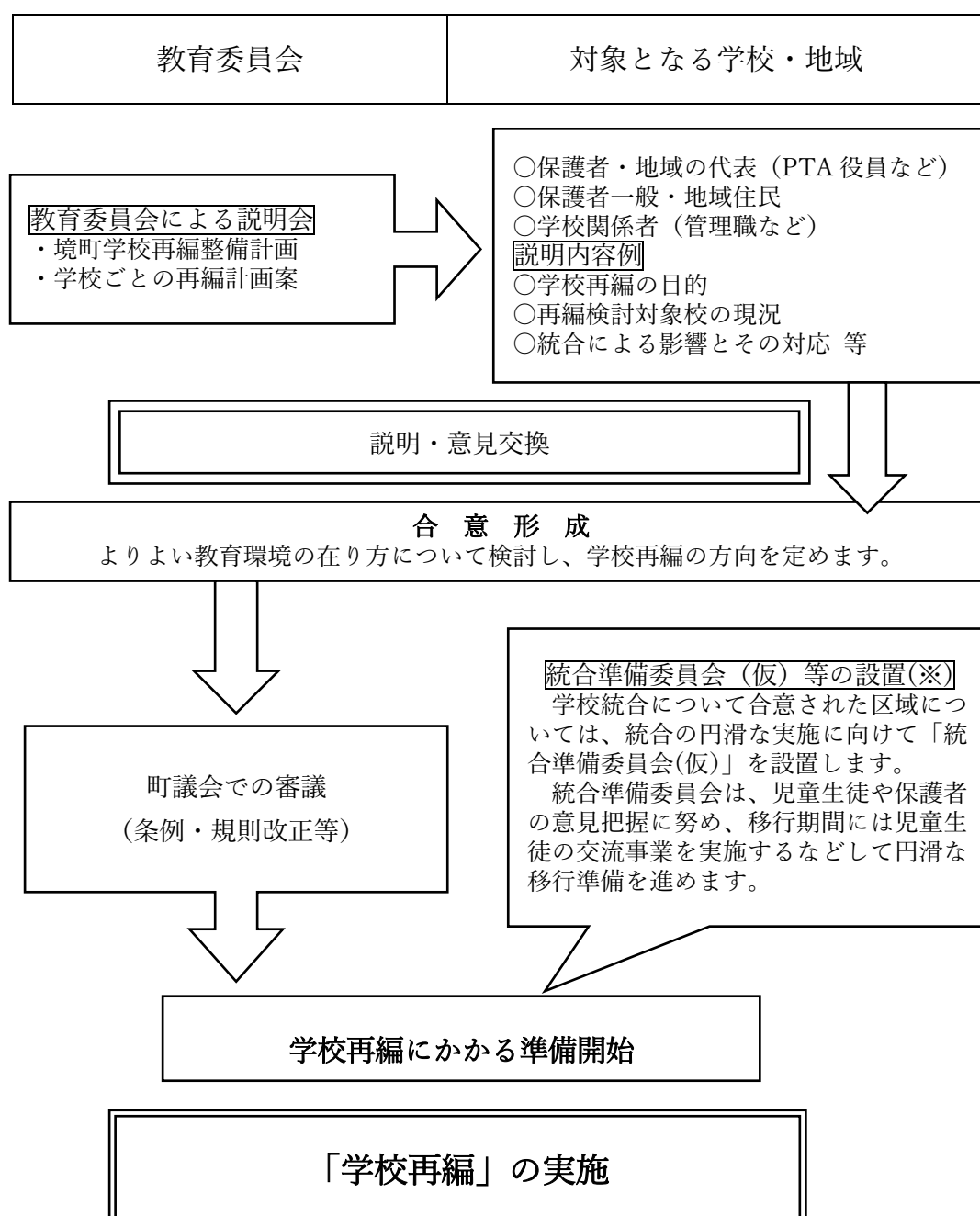
9. 学校再編における今後の取り組み

(1) 保護者や地域の皆様との合意形成

学校再編における協議では、それぞれの地域の実態を踏まえつつ、現在や将来の児童生徒のことを考えた議論を行う中で、保護者や地域の皆様のご理解とご協力を得られる計画となるよう、丁寧な合意形成に努めます。

学校再編における協議の基本的な流れは以下のとおりです。

学校再編における協議の流れ（イメージ）



※ 統合準備委員会（仮）等の設置

統合等の方向性について、保護者や地域の皆様の一定の合意を得られましたら、「統合準備委員会（仮）」を立ち上げ、より具体的な検討事項を協議してまいります。学校再編を検討するにあたっては、学校と地域の連携・協働という視点を踏まえ、保護者や地域の皆様のご意見を聞きながら進めます。

【 構成員（例） 】

- ・保護者を代表する者（PTA役員等）
- ・地域住民を代表する者（学校評議員，行政区長等）
- ・町議会代表
- ・学校関係者（学校長等）
- ・教育委員会
- ・その他（地域の実態による）

【 主な検討事項（例） 】

- ・統合スケジュール
- ・校名，校歌，校章
- ・教育環境整備，通学等安全対策
- ・交流事業・記念行事
- ・新入生への配慮
- ・閉校式，開校式
- ・児童生徒，保護者等への説明会開催・意見把握
- ・その他

（２）学校再編により生じる課題への対応

学校再編を行う上においては、様々な課題が出てくることが考えられます。特に、児童生徒の新たな環境への適応については、以下のような対応を行います。

【児童生徒にとっての環境変化への対応例】

- ・学校行事等において統合予定校の児童生徒間の交流を行うこと。
- ・統合後の学級編成や、担任決定など、十分な配慮を行うこと。
- ・学習規律や生活規律等に関するルール，生徒指導の方針・基準等について，統合対象校の間で調整しておくこと。
- ・児童生徒や保護者の不安や悩みを把握するアンケートを継続的に実施すること。
- ・スクールカウンセラー等の支援を受けられる体制を整備すること。
- ・特別な支援を必要とする児童生徒への支援計画を作成すること。
- ・集団登下校や保護者の付き添いなどで，安全な通学路を検討し，児童生徒に危険予測・回避能力を身に付けさせるための教育を充実させること。